

令和元年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 黒田 敏之	施策コード	02 - 11
		照会先	政策局 総合教育推進室 21-195	関係課	政策局総合教育推進室		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	3	人・地域	(2)	北海道の未来を拓く人材の育成	B	グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成	国際理解教育を行っている公立高校の割合	
北海道創生総合戦略	A2421,A2423、A3963		北海道 強化計画		知事公約	C0014		
特定分野別計画等	北海道総合教育大綱							

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、北海道が活力ある地域として発展し続けていくためには、北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つグローバル人材や新たな価値を創出するイノベーション人材の育成・確保が必要。</p> <p>・そのため、グローバル人材としての素養の醸成はもとより、海外留学の促進や人材活用に向けた環境の整備、ネットワーク体制の構築などの課題に北海道全体で取り組むことが必要。</p>	施策目標	<p>・活力ある未来を拓くため、ほっかいどう未来チャレンジ基金を活用して、若者の留学支援や世界を舞台に活躍出来る人材の育成や、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p> <p>・留学経験者とグローバル人材を求める企業とのマッチング等を進めながら、効果的な人材活用に向けた環境整備の在り方を検討する。</p> <p>・企業や地域との連携を図り、グローバル人材の育成に係る情報等を北海道全体で共有するネットワーク体制を構築する。</p>
-------	--	------	---

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	3(2)B	【ほっかいどう未来チャレンジ基金】 〔道〕基金を活用した事業の推進、ほっかいどう未来チャレンジ応援会議の運営・管理など 〔国〕基金事業への支援、ネットワークの活用(トビタテ！留学JAPAN)など 〔札幌市〕応援会議への参画、グローバル人材育成に関する情報提供 など 〔民間〕応援会議への参画、インターンシップの受入、グローバル人材育成に関する情報提供 など				H29
					H30	28,157
					R1	27,695

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(2)B	◎ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、若者の募集や選考、海外への派遣やサポート、帰国後のフォローアップなど、産学官による三位一体の推進体制で円滑な運営に努めるほか、事業内容等の検証・見直し等を実施する。 ◎産学官関係者とのネットワーク体制を生かし、グローバル人材活用に向けた連携を図る。		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
3(2)B	「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により実施する事業について、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、応援パートナー企業等や関係団体を通して募集の周知を行うとともに、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し、第1期生10名、第2期生9名、第3期生7名を選抜した。助成対象者決定後は、海外での活動の安全と充実を図るレクチャーを応援パートナー企業の保険会社から行うなど、海外への派遣に係るサポートを行った。 また、帰国した基金生が学びの成果を北海道に還元できるよう、道主催事業へ基金生を講師として紹介するなど連携を図った。	A2421 A2423		C0014	
3(2)B	グローバル人材活用に向けたネットワークとして、応援パートナー企業、応援会議構成団体等とのメーリングリストを作成し、情報発信・情報共有を図ったほか、帰国した基金生によるネットワーク「みらコミュ」を開設し、道主催事業や応援パートナー企業主催事業への協力者を紹介。 「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に関連して、保険会社(損害保険ジャパン日本興亜(株))や大学(地域コーディネーター(2大学教員)、派遣者在籍大学)との意見交換を適宜実施し、海外留学に係る課題などを把握。H30年度から学生留学コースの支援期間延長などを行った。	A2421 A2423		C0014	

(2) その他の取組の成果等

国等要望・ 提案状況		施策に 関する 道民ニーズ	
---------------	--	---------------------	--

令和元年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(2)B	「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」に基づき、国際分野で活躍できる人材の育成・活用に向けて、知事部局と教育委員会との相互連携により個別具体的なプロジェクトを進めるために個別テーマごとに設置している連携チームにおいて、情報交換や今後の取組について検討を行う。	0212	総合政策部国際課	「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成事業への応募者や当室ホームページ、道民ホールでの基金PRパネル展において、国際交流基金「日本語パートナーズ」のPRを実施したほか、道教育庁主催「北海道グローバル人材育成キャンプ」の講師となる基金生及び応援パートナー企業を紹介。
		1108	教育庁教育政策課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
産学官関係者で構成し、基金事業を推進するために設置している「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」において、若者の審査選考や事業内容等の検証・見直し等を行う。	<p>北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、</p> <p>北海道大学、小樽商科大学、北海道教育大学、</p> <p>札幌市など、産学官各種団体と連携</p>	<p>応援パートナー企業等や関係団体の協力を得ながら、募集の周知を行うとともに、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し、第1期生10名、第2期生9名、第3期生7名を選抜した。助成対象者決定後は、海外での活動の安全と充実を図るレクチャーを応援パートナー企業の保険会社から行うなど、海外への派遣に係るサポートを行った。</p> <p>また、グローバル人材活用に向けたネットワークとして、応援パートナー企業、応援会議構成団体等とのメーリングリストを作成し、情報発信・情報共有を図ったほか、帰国した基金生によるネットワーク「みらコミュ」を開設し、応援パートナー企業主催事業への協力者を紹介。</p> <p>「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に関連して、保険会社(損害保険ジャパン日本興亜(株))や大学(地域コーディネーター(2大学教員)、派遣者在籍大学)との意見交換を適宜実施し、海外留学に係る課題などを把握。H30年度から学生留学コースの支援期間延長などを行った。</p>

令和元年度 基本評価調書

施策名	グローバル人財等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)	3-2 成果指標の達成度合
-------------------------------------	---------------

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1					
国際理解教育を行っている公立高校の割合		基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1	達成度合	A	評価年度	H30	各学校において、海外からの留学生や教育旅行を積極的に受け入れる体制が整備されていること。
		基準値	71.0%	目標値	100%	最終目標値	100%	年度	H30	R1	進捗率	
〔指標の説明〕 姉妹校等の生徒との交流会や外国人等による講演会など国際理解教育を行っている公立高等学校の割合	根拠計画	政策体系		増減方向		達成率の算式		目標値	100	100	100	
		北海道教育推進計画	3(2)B	増加		(実績値/目標値)×100	実績値	100	-	100		
							達成率	100.0%	-	100.0%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和元年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	—	11
-----	-------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費(千円)	令和元年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	執行体制				
							うち 一般財源	本庁	出先機関		
0501	3(2)B	北海道未来人材応援事業費	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により支援する。	政策局総合 教育推進室		26,160	3,461	2.3	0.0	2.3	44,491
0502	3(2)B	北海道未来人材応援基金運営費	ほっかいどう未来チャレンジ基金の継続的、安定的な運営をするため、企業訪問による協賛協力要請の実施や、道内外個人の寄附利便性向上を図る。また、制度再構築に係る検討会の開催や有識者ヒアリングを実施する。	政策局総合 教育推進室		1,535	1,535	0.2	0.0	0.2	3,129
計					0	27,695	4,996	2.5	0.0	2.5	

令和元年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02 - 11
-----	-------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(2)B	1					A・B指標のみ	【国際理解教育を行っている公立高校の割合(A)】 ・姉妹都市交流や海外見学旅行の受入、授業におけるALTの活用など、公立高校において国際理解教育を推進している。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金による若者の留学支援など、グローバル人材の育成に係る取組を、社会情勢を踏まえ着実に推進している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか		
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金の助成事業の実施(審査選考、応募者掘り起こし、留学生への道施策の情報提供)や帰国した基金生が学びの成果を北海道へ還元する機会の提供など関係部・道教育庁と連携した取組が行われている。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する助成事業について、産学官による三位一体の推進体制での円滑な運営に努め、各関係機関の協力を得ながら募集を周知し、若者からの応募に対し専門分野の有識者等による面接を実施し第1期生10名、第2期生9名、第3期生7名を選抜したほか、応援パートナー企業主催事業への基金生の協力者紹介など、地域・民間と連携した取組が行われている。
判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	

対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	3(2)B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう未来チャレンジ基金により実施する事業について、3カ年の実施状況を踏まえ、引き続き優秀な人材を確保するため、応募者の掘り起こしを実施。 ・帰国した基金生の学びの成果を北海道に還元するため、道主催事業などへの基金生の活用を実施。 				A2421 A2423		C0014

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・大学、パートナー企業などと連携し、大学生や社会人の応募を検討する者を対象とした留学説明会を開催するなど、優秀な人材確保に取り組む。 ・各専門学校を訪問し、制度について周知を図るとともに、応募者の掘り起こしを図る。 ・道主催事業の活用や道教育厅と連携し、帰国した第1期生・第2期生の学びの成果を北海道に還元するための帰国報告などに取り組む。 ・制度の見直しを行い、次年度に向け、学生留学コースの支援対象分野の拡大やその他3コースの支援終了後の道外居住可能期間の延長など改正を行う。	拡充：北海道未来人材応援事業費

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)

整理番号	事務事業名	一次政策評価に おける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)